

1 国際共同研究の研究目的及び研究計画（基課題の研究内容及び進捗状況等を含む）

- ① 現在実施中の科研費（基課題）の研究内容及びその進捗状況について記述してください。
- ② 現在実施中の科研費（基課題）の研究をどのように発展させるのか明らかになるよう、その研究目的や研究計画について記述してください。この際、国際共同研究を実施する上で国内における研究活動等が必要な場合にはあわせて記述するとともに、研究体制の全体像を明らかにするため、基課題の研究分担者など海外共同研究者以外に研究協力者として参画する研究者がいる場合にはその役割等を記述してください。
- ③ 特に現在実施中の科研費（基課題）の研究期間が初年度の場合には、基課題の進捗状況に対して、なぜ国際共同研究の研究計画が必要なのかその関連性がわかるように具体的かつ明確に記述してください。

※ 広い分野構成で多角的視点から審査が行われることに注意して作成してください。

（概要） ※10行程度で簡潔に記入してください。

（本文） ※概要と合わせて2頁以内で記入してください。

2 国際的な環境（海外共同研究者、外国機関等）で研究することの意義・必要性

今回、国際共同研究の実施を計画している海外共同研究者の氏名、当該研究者の所属研究機関（外国機関）の名称、渡航期間等を明らかにした上で、下記の点について記述してください。

- ① 現在実施中の科研費（基課題）の研究を発展させるためになぜ国際共同研究を実施する必要があるか、国内外の研究動向等も踏まえ、その意義や必要性について明らかにし、具体的な研究の方法について記述してください。
- ② 当該外国機関の研究環境の状況について記述してください。なお、これまでに当該外国機関との関係において国際共同研究を行う研究基盤を構築している場合には、その内容を記述してください。

※ 1頁以内で簡潔に記入してください。

3 海外共同研究者の役割及び研究業績等

- ① 今回の研究計画・方法における海外共同研究者の役割や研究内容等について、具体的かつ明確に記述してください。
- ② 海外共同研究者のこれまでの研究活動や研究業績（論文等）について記述してください。
- ③ 本国際共同研究の実施に向けた海外共同研究者との準備状況について記述してください。

※ 1頁以内で記入してください。

4 これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、研究代表者がこれまでに受けた研究費（科研費、所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本国際共同研究の立案に生かされているものを選定し、科研費とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記述してください。

- ① それぞれの研究費毎に、研究種目名（科研費以外の研究費については資金制度名）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費。研究分担者の場合は分担金の額。）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価、研究進捗評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください。（現在実施中の科研費（基課題）については、「1 国際共同研究の研究目的及び研究計画」に記述してください。）
- ② 科研費とそれ以外の研究費は線を引いて区別して記述してください。

※1頁以内（半頁程度）で記入してください。

5 研究業績

本欄には、研究代表者がこれまでに発表した論文、著書、産業財産権、招待講演（国際学会等）のうち主要なものを選定し、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

- ① 例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。
- ② 以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。なお、研究代表者には二重下線を付してください。

※2頁以内で記入してください。

6 今後の国際活動における応募者自身の役割及び国際共同研究による波及効果

- ① 今回の国際共同研究を通じて、今後、どのような国際的な研究上の連携が見込まれるか記述してください。
- ② 今後、応募者自身が独立した研究者として国際的にどのような役割を担うのか記述してください。
- ③ 上記①の国際的な研究上の連携によって、当該研究分野や関連研究分野に対してどのような貢献があるか記述してください。

※1頁以内で記入してください。

7 人権の保護及び法令等の遵守への対応

本欄には、研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

※1頁以内（半頁程度）で記入してください。

8 研究経費の妥当性・必要性

本欄には、「9 研究経費の費目別内訳」に記入する「渡航費・滞在費」「研究費」「代替要員確保のための経費」の妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。

また、以下に該当する場合は、その必要性を記述してください。

- ① 「代替要員確保のための経費」が全体の研究経費の50%を超える場合、その必要性
- ② 国内で使用する設備を購入する場合、国際共同研究を遂行するにあたっての必要性

※1頁以内（半頁程度）で記入してください。

9 研究経費の費目別内訳

本欄には、当該研究計画に必要な研究経費について、以下記載の経費区分毎に品名（事項）及び金額（千円単位）を記入してください（千円未満の端数は切り捨ててください）。

※2頁以内で記入してください。

(1) 渡航費・滞在費

事項	金額（千円）
計	

(2) 研究費（外国）

事項	金額（千円）
計	

(3) 研究費（国内）

事項	金額（千円）
計	

(4) 代替要員確保のための経費

事項	金額（千円）
計	

10 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

本欄は、合議審査において、「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参照するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただく必要があります。本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1) 応募中の研究費、(2) 受け入れている研究費（予定を含む）、(3) その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、現在採択されている科研費（基課題）との関係については「国際共同研究の研究目的及び研究計画」欄に記述することとし、本欄において「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」は記入する必要はありません。また、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調書作成・記入要領を確認してください。

- ① 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。
- ② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。
- ③ 科研費の「新学術領域研究（研究領域提案型）」にあつては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。
- ④ 所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても記入してください。

※必要に応じて行を挿入して構いません。

(1) 応募中の研究費

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	平成 29 年度の 研究経費 (期間全体の額) (千円)	平成 29 年度の エフオ ート(%)	研究内容の相違点及び他の 研究費に加えて本応募研究 課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合 は、研究期間全体の受入額を記 入すること)
	【本応募研究課題】 国際共同研究加速基 金（国際共同研究強 化）	代表	()		(総額 千円)
			()		(総額 千円)

(2) 受け入れている研究費（予定を含む）

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	平成 29 年度の 研究経費 (期間全体の額) (千円)	平成 29 年度の エフオ ート(%)	研究内容の相違点及び他の 研究費に加えて本応募研究 課題に応募する理由 (科研費の研究代表者の場合 は、研究期間全体の受入額を記 入すること)
			()		(総額 千円)
			()		(総額 千円)

(3) その他の活動 エフォート： %